

海老名市立大谷小学校 学校運営協議会 議事録
(令和6年度 第2回)

- 1 日時 令和6年11月11(月) 9:00~10:00
- 2 場所 海老名市立大谷小学校 校長室
- 3 出席委員 石井 正雄委員長、藤澤 ゆかり委員、今別府 淳子委員、
桐生 行雄委員、吹越 真佐美委員、鈴木 竜也委員、
島仲 京子校長、岩瀬 歩総括教諭

4 会議の内容

(1) 学校長挨拶

島仲校長：学校目標から今年度より新しく示しためざす子ども像「追究する子」、「創造する子」、「協働する子」に沿って、行事をはじめ活動を見直している。今週に行う運動会は新しい形を目指した。特に表現(ダンス)において、子どもたちが主体的に取り組むように、子どもたちが選曲、振り付け、隊形を考え、ダンスリーダーが中心となって練習をしている。

(2) 6年生の練習を見学後意見交換

石井委員：取り組む様子を保護者にも伝えとよい。

岩瀬総括教諭：PTA だよりや学年だよりでも伝えていく予定。

桐生委員：相手の意見を尊重する力、みんなの意見をまとめていく力等リーダーの育成が大事。

藤澤委員：社会の縮図のようだ。上手な子、苦手な子それぞれの子が気持ちよく育つことが大事。

島仲校長：今年は音楽会も学習発表会とし、子どものやりたいことが表現できるようにしている。

藤澤委員：音楽は好き、嫌いも出てくる。上手にやるのが音楽ではなく、一緒にやることによさがある。

島仲校長：今年はそよかぜ級の出番もある。

藤澤委員：そよかぜ級じゃないとできない表現がある。みんなが楽しくないと楽しくない。そういうことを感じるとよい。

吹越委員：当日、みんなの気持ちが一つになるとよい。

藤澤委員：保護者にもそのようなまなざしをもってもらえるといい。

(3) 全国学力・学習状況調査の結果について

岩瀬総括教諭：学習において概ね良い結果が出ている。ただ事実と感想を区別したり、その根拠を相手に伝わるように表現したりすることに課題があった。今後自分の考えを表現する学習を積極的に取り入れたい。

島仲校長：「あなたならどのようにまとめるか」という問題に課題があった。

自分がどのように考えているかの部分は正解・不正解はなく根拠をもって説明ができていないかを問われている。

鈴木委員：自分の考えでよいことを子どもたちは知らないのではないか。

島仲校長：その可能性はある。

鈴木委員：考えを自分で説明するのはよい。

桐生委員：普段から授業でやるとよい。

今別府委員：コミュニケーションをとる機会が少ないのではないか。昔はおじいちゃんやおばあちゃんの考えに触れる場面があった。

鈴木委員：親が子どもの時に比べて ICT 機器の環境が違い、情報量が膨大で環境も大きく違う。保護者は ICT の使い方を子どもと話し合うとよい。

岩瀬総括教諭：全国学力・学習状況調査の結果のお知らせにおいても「ご家庭で取り組んで頂きたいこと」としてお願いしている。

(4) おおやっこコンサートについて

岩瀬総括教諭：2月10日の発表会は皆様をご招待している。是非来てください。2月12日、13日の授業参観を兼ねた発表会ではスタッフとしてお手伝いを頂きたい。

(5) その他

島仲校長：グランドデザインの「社会とのふれあい」として、各学年、生活科や総合を中心として地域と関わりながら活動をしている。これからも積極的に取り組んでいく。今後ともご協力をお願いしたい。

島仲校長：来年度より、登校班がなくなり、個別登校となる。今後、安全面での検討をしていく。

今別府委員：子どもの安全を考えると自治会や青健連等の地域の協力を得るとよいのではないか

桐生委員、藤澤委員：新1年生のことも考えないといけない。子どもの安全をまずは第一に考えてほしい。

島仲校長：PTAの在り方も今後考えなくてはならない。

(6) 次回の日程

次回の、学校運営協議会は、令和7年2月21日（金）9:00から開催予定。